



1 校章デザインが決まりました

令和5年4月開校の金峰学園校章デザインを、今年の3月から5月末まで募集し、全国から304点もの応募がありました。田布施小、阿多小及び金峰中の3校の教職員による「一次選考」、3校の児童生徒による学級単位での「二次選考」を経て、金峰学園開校準備委員会（以下「開校準備委員会」と言う。）（7/29開催）などの協議・承認を得て、金峰学園の校章デザインを決定しました。いずれも素晴らしい作品が多く、新しく開校する学校の校章デザインとして、応募された皆様の熱く強い思いが伝わる作品ばかりでした。

(1) 金峰学園校章デザイン



制作者

平山 陽一さん (鹿児島県鹿児島市)

全体のビジュアルは、英文頭文字“KINPO”の「K」+九州百名山の一つに数えられる霊峰「金峰山」+「ペン（勉学・学習を表現し、学問を追求していく事を表現。）」+「子供たちが大きな世界へ羽ばたき、心豊かに活躍する姿」を組み合わせデザイン。“ペン”は「文」とし、“翼”は「武」になぞられ、文武両道を兼ね備えた訓練の場になることを象徴しています。また、3つのラインは、“金峰中”、“田布施小”、“阿多小”を意味しており、知・徳・体の均衡した優れた人格形成を願い恵まれた自然に囲まれて元気に育つ子供たちが一致団結し、新しい学び舎を創生する願いを強調。上部に配置しているローマ字表記には、グローバルに親しまれる学園となるようにとの願いも込めた校章デザインです。

(2) 特別賞【奨励賞】

応募作品のうち、中学生以下の作品の中から、このたびの受賞を励みに、今後、ますますの活躍を期待して、2作品を奨励賞に決定しました。



制作者 大重 理子さん
(鹿児島育英館中学校)



制作者 小崎 太陽さん
(南さつま市立金峰中学校)

2 校歌の制作方針が決まりました

① 方針

金峰中学校校歌の曲及び詞を継承し、金峰学園校歌とする。

ただし、詞など、金峰学園の実情と整合性が取れない箇所は、必要に応じて変更します。

② 理由

金峰中学校の校歌は、昭和55年3月に、阿多中学校・田布施中学校・大坂中学校の3校を統合し、翌年、昭和56年に制作されたものです。校名、校舎、制服など、開校に向けて新しくなるものも多い中、継承していくこととなりました。

- 1) 今回の学校再編に先じて、3つの中学校が1つに統合された際に制作された校歌である
- 2) 金峰の景観や特徴などが盛り込まれたものである
- 3) 長きに親しまれた校歌が多い中で、約40年余りと新しいものである